

共につくる心豊かなまちづくり 中学生福祉施設体験学習



思いやりの心

夏休みの期間、長泉町内の中学生（希望者）を対象にした、福祉施設利用者との交流体験を行いました。高齢者や障がい者、幼児等との交流を通して、福祉への理解を深めてもらうのと同時に社会性を養っていただくのが狙いです。

参加した生徒からは、利用者からの「また遊びに来てね。待っているよ」の言葉に胸が熱くなったとの感想をいただきました。

お知らせ／社協ではホームページを開設しました (<http://www.nagaizumi-shakyo.jp>)。

平成19年度 赤い羽根共同募金運動がスタートします

長泉町共同募金委員会では、10/1から12/31まで昨年度に引き続き「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに各区、学校、企業、職域、街頭などで募金活動を行います。

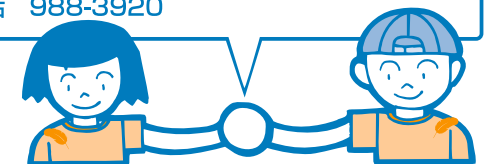
皆様の募金は、今年も区長様を通じてお願いしていきますので、ご協力をお願いします。



※写真は、平成18年度街頭募金の様子

街頭募金の日程

- と き** 10/1 (月) 午後3時30分から1時間程度
と ころ ・カインズホーム長泉店 (南一色)
・ウェルディ長泉 (下長窪)
・長泉ショッピングセンタービュー (下土狩)
・エスポット長泉店 (竹原)
問 合 長泉町共同募金委員会
電話 988-3920



アルコール依存相談のお知らせ

嗜好品の域を超えたお酒は、さまざまな問題を引き起こします。「飲む量は自分でコントロールできる」。その様な理由をつけては、お酒を飲み続けていませんか。

一人で悩んでいても問題解決が遅れるだけです。ご家族からのご相談もお受けしています。

相 談 日 時 毎月第2、第3、第4月曜日 (祝日は除く)
午後1時30分～4時30分
※9月は9月10日 (第2月曜日) のみ開催
予 約 ・ 問 合
静岡県精神保健福祉センター
電話 054-286-9245
FAX 054-286-9249



ボランティアさん大募集

いずみの郷では、高齢者の方々等の皆様が、喜んでいただけるサービスの提供に努めています。お手伝いをいただけるボランティアさんを大募集しています。

＜たとえば＞

- ☆話し相手
 - ☆入浴後のドライヤーかけ
 - ☆お花のお世話
 - ☆外出時の移動支援
 - ☆将棋・トランプ・ゲームの相手
 - ☆特技の披露 など
- ※やってみたい事がありましたら何でもご相談下さい。

活動場所 長泉町下土狩971
長泉町在宅福祉総合センター いずみの郷
活動時間 月曜日～土曜日 (祝日も営業)
9時30分～16時の間で都合の良い時間
問 合 電話 988-6688
FAX 987-7689 (担当：渡邊)

皆様の声をお聞かせ下さい

- 社会福祉協議会やボランティアに関する相談 ☆福祉会館：電話 988-3920
- 福祉・介護サービスに関する相談 ☆いずみの郷：電話 988-6688



介護予防の ワンポイント アドバイス

年を重ねるに連れて、誰でも多少は脳の働きが衰え、物忘れが多くなります。しかしそれが「単なる物忘れ」なのか「病気によるもの」つまり認知症（痴呆）によるものなのかは、不安が残ります。どのような特徴があるのでしょうか？一例を挙げますと

単なる物忘れ	認知症（痴呆）による物忘れ
体験の一部を忘れる 例）何を買ったのか忘れる	体験のすべてを忘れる 例）買い物に行ったことを忘れる
物忘れを自覚している 例）荷物を忘れる	物忘れを自覚できない 例）荷物があつたことを忘れる
人格に大きな変化はない 例）財布が見当たらず、周辺を探す	人格が変化する 例）「財布が盗まれた」と人を責める
人物や場所が分からなくなることはない 例）名前が思い出せない	人物や場所が分からなくなる 例）その人が誰なのか分からない
日常生活に支障はない 例）来た道を忘れる	日常生活に支障が出て介助が必要になる 例）今いる場所すら分からない

認知症には、①脳血管性認知症と②アルツハイマー型認知症の2種類があります。その特徴は

	アルツハイマー型認知症	脳血管性認知症
年 齢	65歳以降に多い	50歳代の時期から見られる
男 女 比	女性に多い（男性の3倍）	男性に多い
原 因	脳の神経細胞が、徐々に死滅していく	高血圧や、糖尿病、高脂血症等の生活習慣病による脳の動脈硬化が主である
経 過	ゆっくり進行	急に進行（段階状に進む）
自覚症状	少ない	多い（頭痛・めまいなど）
治 療 法	薬によって症状の進行を遅らせる	降圧剤・抗凝固剤
予 防 法	脳細胞の死滅が何故起こるのか原因は不明	生活習慣病の改善

平成19年度 暮らしの相談『法律』のお知らせ（相談無料）

相談には事前予約が必要です

- ☆相談日時：毎月 第4火曜日 10：00～15：00
- ☆予約方法：予約は前月相談日の翌日、第4水曜日から電話や窓口で受付けております。その際、時間等調整いたします。
- ☆相談場所：長泉町在宅福祉総合センターいずみの郷 1階相談室（相談は来所のみ）
予約時間の5分前にいずみの郷1F窓口にお越しください。
- ☆相談員：法律専門家 植松敏彦氏 相談定員：先着4名
- ☆相談内容：法律の専門家が暮らしのなかの法律に関するお困りごとについて、親切丁寧に無料でお答えいたします。お気軽にご相談ください。

秘密は厳守されます。

開催日程

月 別	相談日	予約受付開始日
H19年 9月	25日（火）	8/29（水）
10月	23日（火）	9/26（水）
11月	27日（火）	10/24（水）
12月	25日（火）	11/28（水）

予約申込先

長泉町社会福祉協議会
担当：今井・青柳
電話：987-7682

なお、1月以降も継続して毎月第4火曜日に行います。

社会福祉協議会をご存知ですか？

私たちの国は、世界一の長寿国といわれながら、少子化の進行や、地域住民の社会的なつながりの薄れから、家庭や地域の支えあい機能が弱体化して高齢者・障がい者などの社会的弱者は、一層厳しい状況におかれています。

私たち社会福祉協議会は、そうした問題に対して、誰もが安心して楽しく暮らせる「人に優しい福祉の町づくり」を進めるために、地域のみなさまやボランティア、福祉・保健等の関係者、行政機関の協力を得ながら共に考え、実行していく民間の社会福祉団体です。

社会福祉法に基づき、すべての都道府県や市町村に設置され、地域の福祉推進の中核を担っています。民間組織としての「自主性」と広く町民のみなさまや社会福祉関係者に支えられた「公共性」という2つの側面を併せ持っています。

一般的に社会福祉協議会を略して、「社協」と呼んでいます。

『福祉ながいずみ』の表紙にも出ています社協のシンボルマーク「㊦」は、社会福祉及び社会福祉協議会の「社」を図案化し、「手を取り合って明るい幸せな社会を建設する姿」を表現しています。

社協の主な取組には、以下の活動があげられます。

1.施設運営の充実

町民の福祉と健康の増進のため、より使い勝手が良く、身近な施設づくりに努めています。

2.地域福祉活動の推進

住みやすい町づくりを創造していくためには、地域住民のご理解とご協力が欠かせません。地域のみなさまと協働で、安心して暮らせる町づくりのお手伝いに努めています。

3.ボランティア活動の推進

ボランティアについての理解を深め、併せてボランティア活動の振興を図るために、活動者の連絡調整や養成に努めています。

4.共同募金活動の推進

一人ひとりのやさしい心が、町の福祉を支えることになります。「地域の福祉・みんなで参加」をスローガンに掲げ、さまざまな民間社会福祉活動を財政面から支援する運動に、みなさまのご理解とご協力をいただきながら取り組んでいます。

5.広報啓発・福祉教育の推進

福祉情報の発信と併せて、次世代を担う子ども達に対して、福祉意識の向上をめざし、以って、思いやりの心を育む支援をしていきます。

6.福祉サービス利用支援の推進

社会的な弱者に対して、日常生活が円滑に営めるよう、関係協力者と連携を取りながら、その方が安心して暮らせるようにサービスの調整等を支援していきます。

7.在宅福祉サービスの推進

高齢者や障害者に関わるさまざまな在宅福祉サービスの実施について、関係機関と連携を取りながら、質の高いサービス提供に努めています。

なにか、日常生活でお困りのことがありましたら、お気軽にご相談下さい。
秘密は厳守いたします。

問合 長泉町社会福祉協議会 電話988-3920

もしもの時に安心! ～福祉電話の設置～



福祉電話をご存知でしょうか。社協では、一人暮らし高齢者の方を対象に、福祉電話の設置事業を行っています。福祉電話とは、救急車の要請が必要な事態が発生した場合などペンダント型発信機を押すだけで、消防司令センターに緊急事態を知らせる装置です。設置をする際には、業者の工事が必要となりますが、お持ちの家庭用電話へ簡単に取り付けることが出来ます。なお、取り付けの工事料金（基本工事料3045円 平成19年6月現在）は、利用者様の負担となりますが、月々の利用料金（380円／1ヶ月）は、一部補助（330円／1ヶ月）がありますので、比較的安価な料金（実質負担額50円／1ヶ月）で利用が可能です。

利用を希望される方は、社協までお問合せ下さい。
問合 長泉町社会福祉協議会 電話 988-3920

「声の広報」をご利用下さい

社協では、ボランティア団体声のサークル「あけぼの」のご協力をいただき、視覚に障がいのある方々を対象にした情報提供事業を行なっています。

これは、『広報ながいずみ』や『福祉ながいずみ』、『議会だより』等の広報紙を読み上げ、テープに録音して視覚障がい者の方々へお届けする活動です。

視覚の不自由な方すべてが、点字を読めるわけではありませんので、公共的なこの朗読テープは、利用をいただいている方から「声の広報」として貴重な情報源になっているとのご返事をいただいています。ご利用を希望される方は、社会福祉協議会までご連絡下さい。

問合 長泉町社会福祉協議会 電話 988-3920



輪投げ大会が開催されました

長泉町老人クラブ連合会では、健康づくりを通じて会員相互の交流を図るとともに、健康の保持増進に努めるため、第15回輪投げ大会の開催を長泉小学校体育館にて盛大に開催しました。

町内の単位老人クラブ43チーム、456名が参加して輪投げの競技を競い合いました。

競技は、3ヶ先の輪投げ台に向かって1人6回ずつ投げ、輪が入ったボールの得点を合計してチーム得点としました。1チーム10人が3回ずつ競技した合計点数で順位を競い合いました。

今大会の運営については、老人クラブ連合会女性部の皆さんが、中心となって大会の円滑な進行に一役買っていただきました。

なお、第15回輪投げ大会の結果は、以下の通りです。



優勝 上長窪A
準優勝 納米里A
3位 谷津B



第7回 富士清掃に学ぶ会「長泉北中学校大会」開催のご案内

私たち「富士清掃に学ぶ会」では、身近な環境を参加者で力を併せて一緒に清掃作業に取り組むことで、汚さない努力と環境への配慮の心が自然と育まれるものとの信じています。掃除を続けることで忍耐力を養い、助け合うことで協調性を学び、小さな汚れも見逃すまいと目を配ることで敏感な心を育てます。このたび、学ぶ会では「掃除は人の心も洗う」を合言葉に、下記内容で小さな大会を開催させていただきます。

ご家族・友人等お誘い合わせの上、多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

- 日 時 10月28日（日）8時～12時30分
- 集合場所 長泉北中学校校庭
- 持参物 汗拭きタオル・靴
- 参加費 1,000円（昼食代・活動保険代等として）※高校生以下は無料
- 協賛 長泉町を美しくする会（長泉町ボランティア連絡会所属）
- 申込問合 富士清掃に学ぶ会事務局 FAX 0545-64-7800
電話 0545-64-5111



企業の社会貢献活動



このたび、マックスバリュートウキョウ株式会社から、社会貢献活動の一環として車椅子を2台、長泉町社会福祉協議会に寄贈くださいました。

いただきました車椅子は、アルミ製で非常に軽く使い勝手が良いことから、施設利用者の方々にご利用いただく以外にも、福祉体験のための教材用等として幅広くご利用させていただきます。どうもありがとうございました。



やさしい心
ありがとう

○物品寄付（木綿の布、牛乳パック、ブルタブ、古切手、セーター、テレホンカード他）
井口繁男、柏木瑠璃子、牧野明子、古瀬洋子、高橋靖彦、安藤典子、遠藤藤吉、大川順子、前田春子、武井紀予視、杉山美子、堂坂寿美江、喜久知麻子、金田タガ枝、齊藤美恵子、日吉富江、佐々木耕司、大場マツエ、松本ふくじ、勝呂すみゑ、平松浩子、芹澤とら子、梅原真理子、谷井雪江、早津知子、浦山千江子、杉浦義郎、基村信雄、目黒和子、帯金芳郎、高梨栄子、三枝三樹代、下山かおり、大島宏幸、増田壮一郎、渡邊節、松本ひで子、大場マツ江、遠藤嘉子、渡邊朋子、早川公子、山田ミツエ、吉田久和、嘉本幸子、秋山馨、星野弥太郎、高田みつこ、大場里枝子、木村健二、片山正枝、大沼七世、年金者連盟遠藤利道、宮崎、杉田、植東、三輪、浅沼、村田、宮永、岩崎、すみ麗会、水蓮の会、小さな教室、若葉会、華蓮の会、三枝事務所、(株)サイゼリア長泉店、(株)サイゼリア三島萩店、ちゅりーぶらっさむ、(株)池田製作所、子育て支援センター、民生委員・児童委員協議会、税務課、その他匿名15名（敬称略）

○寄付金

鈴木綱代、鈴木将雄、スポーツダンス研究会小河勝、納米里区地域づくり活動委員会、匿名2名
社会福祉協議会へ多くの方々から物品等をいただきました。

ご厚志に対しまして深く感謝申し上げます。（平成19年6月1日～平成19年7月31日）